



フロンティア パックラフト

共通取扱説明書

ご使用になる前に本説明書をよく読み正しく安全にお使いください。



●お問合せ先

本製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不備な点がございましたら、お買い求め頂いた販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

株式会社スター商事

東京都荒川区東日暮里4-5-16

Tel. 03-3805-2651

www.star-corp.co.jp

この度は本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品をご使用の前に、必ずこの取扱説明書（以下、説明書）をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

今後のため、この説明書は捨てずに大切に保管してください。

※1年保証書在中

1. 安全上の注意

- パドルスポーツは、安全管理が行き届いていない自然の環境下で行われることがほとんどです。そのため、状況によっては、事故により障害を受けることや、死に至る危険があることを認識したうえでこの製品を使用してください。
- この製品を使用する前にこの説明書を熟読して、安全を考えてご使用ください。
- 本製品を鋭く尖ったものの上に置かないでください。
- 本製品は特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。鋭利な岩に当たるような行為は絶対にしないでください。
- 毎回使用前に、摩耗、破損、故障の兆候がないか、本製品および用具を点検してください。
- スムーズな乗り降りを妨げたり、本製品が転覆した時にスムーズな脱出ができないような荷物の積み込みや改造は危険です。荷物を積み込む時は必ず安全を確保してください。
- 本製品を使用する時は必ず、ライフジャケットを着用してください。
- 使用場所や天候に応じた服装を身に付けてください。
- 必要な場所ではヘルメットを着用してください。
- 不慣れな場所・初めての場所では、事前の調査と下見を必ず行ってください。
- 風が強い時や波が高い時、水かさが増しているときのような悪条件下では本製品を使用しないでください。
- 事故が起きた時のリスクを軽減させるため、一人を避けて複数人数で航行してください。
- 泳げない方は絶対に使用しないでください。
- 本製品は定員を守って使用してください。定員以上で乗ると障害を負ったり、事故・破損の恐れがあります。
- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるように説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけの使用は絶対におやめください。

10. 梱包品

品名	CW-220	CW-180	CW-250	CW-320
本体	1	1	1	1
インフレーターブリクシェイプシート	1	1	1	1
インフレーターブリクシェイプシート	—	—	—	1
インフレーターバックレスト	1	1	1	1
インフレーションバッグ	1	1	1	1
ストラップテープ	1	1	1	1
リペアキット	1	1	1	1
スタッフバッグ	1	1	1	1

品名	WW-255	WW-275	HB-250
本体	1	1	1
インフレーターフルフロー	1	1	1
EVAバックレスト	1	1	1
インフレーションバッグ	1	1	1
ストラップテープ	1	1	1
リペアキット	1	1	1
スタッフバッグ	1	1	1



2. 空気の入れ方

■同梱品の確認

パッケージ内に同梱品が正しく入っているか確認してください。不足があった場合は販売店、もしくは弊社にお問い合わせください（P12の同梱品を参照）。

■静水用モデル(CW)の場合

- ①本製品を地面に広げます。
- ②艇本体についている丸いバルブがしまっているか確認します。（あいている場合はしめてください。）丸いバルブを手でおさえ、四角いキャップだけ反時計回り（左）に回して栓を開けます。
- ③付属するインフレーションバッグの給気口を艇本体のバルブに、時計回り（右）に最後までねじ込んで取り付けます。
- ④インフレーションバッグの端にある棒を手で掴み、上下に揺らしながらバッグの内側に空気を集めます。



- ⑤空気を集めたらインフレーションバッグの端を巻き込み、抱え込んで体重をかけながら艇本体に空気を入れていきます。艇本体が完全に膨らむまでこの動作を繰り返します。



- ⑥艇本体が膨らんだら、艇本体からインフレーションバッグを取り外し、膨らみが足りない分はバルブに直接口で空気を吹き込みます。可能な限り空気を入れてください。
⑦完全に膨らんだらバルブの四角いキャップを時計回りに取り付けて栓を閉じます。

■シートの取付方法

- ⑧インフレータートリアングルシートに空気を入れます。シートのバルブを手でおさえ、四角いキャップだけ反時計回りに回して栓を開けます。
⑨3～5と同様の動作を行い、シートが完全に膨らむまで空気を入れます。
⑩シートが完全に膨らんだら、インフレーションバッグを取り外し、バルブの栓を閉じます。

9. 保証

保証期間内（お買い上げから1年間）に本説明書に記載のとおりのお取り扱い方法に従い正常な使用状態において不具合が発生した場合はお買い上げ日より1年間に限り保証をいたします。保証につきましては状況を判断して弊社の裁量にて判断させていただきます。

保証を受ける際は弊社が販売したことを確認するために製品に同梱されている弊社発行の『取扱説明書兼保証書』が必要となります。保証書と購入時のレシート等購入先、購入年月日が確認できる書類を添えてお買い求めの販売店に依頼してください。

なお以下のような原因での破損・不良につきましては保証致しませんのでご了承下さい。

- 誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年劣化による素材劣化
- 乱暴な取扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの
- 付属品の紛失による損失

キリトリ線

保証書	
<p style="text-align: center;">— 保証期間 —</p> <p style="text-align: center;">ご購入日から1年間</p>	<p style="text-align: center;">お買い上げ 年月日</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">年 月 日</p>
お客様	フリガナ
	お名前
	ご住所 (〒 -)
TEL	
販売店様	<p>店名・住所・TEL</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">担当者名</p>

必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

7. お手入れと保管方法

本製品は丈夫な素材で作られていますが、使用するたびに摩耗します。本製品を長持ちさせるために、下記のガイドラインに従ってください。

■お手入れ

- 本製品を使用後は、きれいな水で汚れをしっかりと洗い流してください。
- 汚れがひどい時は中性洗剤で、スポンジや雑巾など本体に傷がつかない柔らかいものを使って洗い落としてください。金属ブラシやシンナー等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 洗ったあとは、乾いたタオルで水分を拭き取るか、自然乾燥で完全に乾かしてください。(膨らませた状態の方が早く乾燥します。)

■保管方法

- 本製品が完全に乾燥したことを確かめてから保管してください。
- 直射日光を避けて、涼しく乾燥した場所に保管してください。
- 長期間保管する場合は広げた状態で保管してください。
- 本体を折り曲げた角から損傷することがあるので、無理にきつく折りたたんだり、上に重い物を乗せることはさけてください。

8. 廃棄方法

廃棄する際はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■流水用モデル(WW)と静水・流水兼用モデル(HB)の場合

- ① 本製品を地面に広げます。
- ② 艇本体のバルブを手でおさえ、四角いキャップだけ反時計回り（左）に回して栓を開けます。
- ③ 付属するインフレーションバッグの給気口を艇本体のバルブに挿入し、時計回り（右）にねじ込んで取り付けます。
- ④ インフレーションバッグの端にある棒を手で掴み、上下に揺らしながらバッグの内側に空気を集めます。
- ⑤ 空気を集めたらインフレーションバッグの端を巻き込み、膝で押さえて体重をかけながら艇本体に空気を入れていきます。艇本体が完全に膨らむまでこの動作を繰り返します。
- ⑥ 艇本体が膨らんだら、艇本体からインフレーションバッグを取り外し、膨らみが足りない分はバルブに直接口で空気を吹き込みます。可能な限り空気を入れてください。
- ⑦ 完全に膨らんだらバルブの四角いキャップを時計回りに取り付けて栓を閉じます。

■フルフロアーの取付方法

- ⑧ 膨らんだ艇本体の内側にフルフロアーを入れます。
バルブがある方が前側になります。
- ⑨ フルフロアーに空気を入れます。フルフロアーのバルブを手でおさえ、四角いキャップだけ反時計回りに回して栓を開けます。
- ⑩ 3～5と同様の動作を行い、フルフロアーが完全に膨らむまで空気を入れます。
- ⑪ フルフロアーが完全に膨らんだら、インフレーションバッグを取り外し、バルブの栓を閉じます。

注意

- 空気が少ないと艇本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。
- 本製品に空気を入れすぎないでください。バーストや空気漏れの原因になります。
- 晴天時、陸上に放置する時は太陽光で空気が膨張しバーストする危険があるので、必ず少し空気を抜いてください。

3. バックレストの取り付け方

■CWの場合



- ①インフレーターバックレストのストラップを艇本体の(A)に通して、写真のように固定します。



- ②シートについている赤い給気チューブの黒い蓋を止まるまで反時計回り(左)に回して開けたら、口で空気を吹き込んで膨らませます。
- ③インフレーターバックレストが完全に膨らんだら、黒い蓋を時計回り(右)に回して栓を閉じます。

6. 修理方法

■修理道具について

※本製品に付属するリペアキットは、現場での修理には対応できません。現場で漕行中の際は岩にぶつかり穴があく可能性があるため、応急処置ができる「GEARAIIDアクアシール+FD リペアキット」の携行を推奨します。

※本製品に付属するリペアシートを使い穴あきの修理を行う際は、下記の道具が必要になります。別途用意してください。

- ウレタン系接着剤 (GEARAIIDアクアシール+FDを推奨します。)
- よく切れるハサミかナイフ
- 目の細かいやすり (#100番程度の紙やすり)
- 消毒用アルコール
- きれいな布

■漏れ(ピンホール)の見つけ方

- ①空気が漏れる場合、漏れている箇所を確認します。
- ②艇本体を膨らませます。小さな漏れは空気圧が低いと発見しにくいので、漏れを発見するためには定期的に空気を入れて圧力を維持します。
- ③食器洗い用洗剤を水で溶かした石鹼水を用意します。石鹼水を本体にスポンジ等で塗布するか、スプレーボトルに入れて噴きかけ、泡ができる箇所を見つけて漏れている場所を確認します。
- 空気が漏れる箇所を特定したらその箇所の石鹼水を取り除き、十分乾かして印をつけます。

■リペアシートの貼り方

- ①補修前に艇本体の空気を完全に抜きます。
- ②よく切れるハサミかナイフを使い、リペアシートを補修する箇所を完全に覆うサイズで切り取ります。
- ※リペアシートは補修する穴から全方向に3~5cm大きく切ってください。小さい穴の場合は、5×5cmにしてください。リペアシートのサイズが大きいほどしっかり補修ができます。リペアシートの角は丸めてください。
- ③目の細かいやすり (#100番程度の紙やすり)を使い、補修箇所とリペアシートの接着面にやすりをかけてください。
- ④消毒用アルコールときれいな布で、やすりをかけた場所を拭き取りゴミを取り除きます。
- ⑤補修箇所に接着剤を適量塗ってください。
- ⑥補修する箇所にリペアシートを貼り付けて、硬化させてください。
- (ご使用される接着剤の取扱説明に従ってください。)

5. 収納方法

※収納する際は必ず保護するシートの上やその他のきれいな場所で行って下さい。
岩や砂などのある場所で作業すると製品が損傷する恐れがあります。

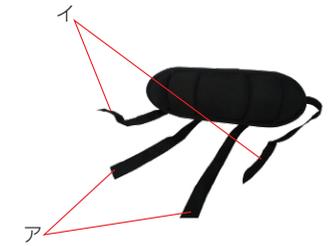
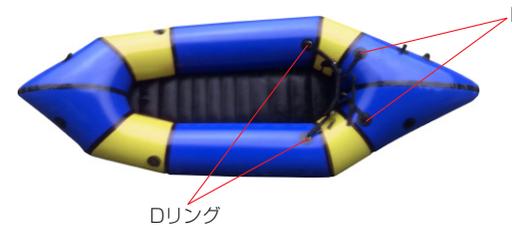
■CWの場合

- ①インフレーターバックレストを取り外します。
- ②インフレーターバックレストの給気チューブの黒い蓋を回して空気を完全に抜いて蓋をしめます。
- ③艇本体とインフレータートライアングルシートの根元の丸いバルブを開けて、空気を抜きます。インフレータートライアングルシートは空気が抜けたら丸いバルブを取り付けて蓋をしめておきます。
- ④艇本体を縦に三つ折りにたたみ、縦長の状態にします。
- ⑤バルブに向かって、空気を抜くように巻いていき、巻き終わったら丸いバルブを取り付けて蓋をしめます。
- ⑥付属のストラップで艇本体をまとめて、スタッフバッグにしまします。

■WWとHBの場合

- ①EVAバックレストを取り外します。
- ②艇本体とフルフロアーのバルブを開けて、空気を完全に抜きます。
- ③艇本体からフルフロアーを取り出し、先端からバルブに向かって空気を抜くように巻いていきます。巻き終わったら蓋をしめます。
- ④艇本体を縦に三つ折りにたたみ、縦長の状態にします。
- ⑤折りたたんだ先端からバルブに向かって、空気を抜くよう巻いていきます。巻き終わったら蓋をしめます。
- ⑥付属のストラップで艇本体とフルフロアーをまとめて、スタッフバッグにしまします。

■WWとHBの場合



- ①EVAバックレストの（ア）のストラップをバックレストから取り外し、艇本体の（B）に内側から通し、写真のように取り付けます。



- ②EVAバックレストの（イ）のストラップを、艇本体のDリングに通し写真のように取り付けます。



- ③艇本体に取り付けた（ア）のストラップの端を、写真のようにEVAバックレストのバックルに取り付けて固定します。



※バックレストの位置や高さは、適宜（ア）や（イ）のベルトの長さで調整してください。

4. WWシリーズ オプションの取付け方

(※オプションは別売品)



サイブレイス

Thai は腿、Brace は締めるを意味します。

バックraftを膝や腿で操作できるようにするためのストラップです。

4本のベルトでバックraftに取り付けて、膝を入れて操作します。

サイブレイス用の D リングとスリットパーツが付いているバックraftに取り付けることができます。

サイブレイスのベルト A をバックraftの前方、後方の D リングに通して、長さが調整できるように固定します。

サイブレイスのメタルフック B をバックraftのスリットパーツに引っかけて固定します。

スリットの位置やベルトの長さは乗艇した際に操作しやすいように調整してください。

*使用の際は急激に強い力をかけると、スリットが破れたりパーツが破損する恐れがありますのでご注意ください。



フットブレイス (ダブル)

バックraftの足元に取り付けて、足の踏ん張りを効かせるためのパーツです。

フットブレイス用の D リングが付いているバックraftか、フルフロアーに巻きつけて固定させることができます。

フットブレイスの給気チューブより、インフレーターブルバックレストと同様に口で空気を吹き込んで膨らませます。二気室とも膨らませたら、付属のストラップテープを使って、専用 D リングがあるものはテープを通して気室の間のくぼみにテープが入るようにして固定します。専用のスリットやメタルフックが付いている場合はそちらを利用してください。

フルフロアーを利用する場合は、ストラップテープをフルフロアーの底を通して巻きつけるようにしてフットブレイスを固定します。空気の量で位置の調整ができます。



フットブレイスを固定しないと、転覆した際に紛失する恐れがあるのでご注意ください。